血液検査

●末梢血

1智王のウ

- 党ュウオな話。

- ●生化学: BUN, CP, TP, Alb, T-Chol, Na, K, Cl, UA
- ●血清:CRP, IgG, IgA, IgM, C₃, C₄
- ♥特殊検査: 自己抗体、血清免疫電気泳動

腎生検

- 1) もっとも有用
- a) 原因不明のネブローゼ症候群
- b) 原因不明の蛋白尿
- c) 原因不明の血尿
- d) 急性発症の尿細管, 間質疾患
- e) 移植臀の拒絶反応の診断や経過観察
- 2) 有 用
- a) 急性発症の腎糸球体疾患
- b) 緩徐な進行を示す尿細管, 間質疾患
- c) 組織診断が治療に寄与する可能性のある腎不全 3) 禁 忌
- a) 出血傾向
- b) 著明な高血圧症
- c) 単腎
- こ) 極度の肥満
- e) 協調性のない患者
- f) 囊胞性疾患
- g)腎感染症

腎生検の適応

- 1. 尿生化学で尿蛋白が1日0.3-0.5g以上が持続。 蓄尿一部尿の尿生化学で1日尿蛋白を計算。 随時尿の尿生化学でも1日尿蛋白の推定は可能。 1日クレアチニン排泄量を1gと見なす。 例: 尿クレアチニン 100mg/dl 尿蛋白 200mg/dlでは、 1日尿蛋白は、2000mg(= 2g)と推定。
- 2. 尿蛋白が少なくても尿沈渣に赤血球円柱などを認める場合。





